



満開の桜と春の暖かな日差しの今日の佳き日、入園式が行われますことに心からお祝いを申し上げます。

よいこの皆さん、ご入園おめでとうございます。これからはお友達^{ともだち}のいっぱいいる保育園^{ほいくえん}で、いろいろなことを体験^{たいけん}しながら、元気^{げんき}にたくましく育て^{そだ}てください。

保護者の皆様方、本日は、誠におめでとうございます。これまでご家庭で大切に育ててこられたお子さまを保育園に託され、集団生活をさせることへの不安は大きいことと思います。

私も大きな不安とともに、園に子どもを連れて行った日のことは今でも昨日のように覚えています。しかし、子どもたちは日ごとにたくましくなり、親の予想を超えた成長を見せてくれます。

また、保育園ではぜひ、保護者同士のつながりを大切にしていいただければと思います。子育てにおいてはさまざまなピンチがやってきます。ひとつの家族だけで乗り切るのは至難の業であり、同級生のご家族と助け合う場面があるかもしれません。家族ぐるみの付き合いは、子どもが小学校に入学しても続く、素敵な人の輪になります。

結びに、園関係者の皆様には保育のプロとして、子どもたちだけでなく、ご家庭の課題にも目配りをしていただき、地域の子どもたちの健全な育ちをリードしていただくことをお願いし、また、ご出席の関係各位には保育園を温かく見守っていただくとともに、円滑な運営にご助力賜りますようお願いして、私のお祝いの言葉といたします。

本日は誠におめでとうございます。

令和7年4月吉日

和光市長 柴崎 光子

